

■ 講評

計画段階から、障害者や高齢者、ボランティア団体と連携し、バリアフリー懇談会を開催して直接要望を聞くとともに、完成前にはショッピングセンター現場に案内、直接に整備状況を見てもらい、意見を聴くなど、常に利用者の視点にたった施設整備を行い、県内初のハートビル法認定建築物として、県内はもとより、全国における先進事例としてバリアフリー化の推進に貢献した。また整備後においても、バリアフリー懇談会やパネルディスカッションを開催し、成人用介護ベッドの設置やデイサービスセンターの導入、託児所の導入など、一層の充実を図っている。

ハード面においては、駐車場、視覚障害者誘導用ブロック、段差解消、廊下などさまざまな点において施設整備に配慮するとともに、各出入口に車いす、杖を用意し、またインターホンの呼び出しによって介添えサービス等の要望に応えることとしている。また、総合インフォメーションには、公衆ファックス、老眼鏡、杖を備え、車いす来店者専用の休憩室を設置しているほか、平成13年4月には、車いす専用スペース及び聴覚障害者向けイヤホン機器を備えた映画館も併設している。なお、従業員にも、定期的に介護講習・教育を実施している。

さらに、デイサービスセンターのスペースをショッピングセンター内に確保し、地元NPOによって、高齢者や障害者のためのショッピングガイドヘルパーのサービスや福祉施設の紹介等の福祉情報サービスが提供されるなど、ショッピングをしながらさまざまな福祉サービスや情報提供が受けられるパブリックスペース等を備えたショッピングセンターとなっている。



段差のない店内（ガイドヘルパーとショッピング）



みんなのトイレ（多目的トイレ）



総合サービスカウンター（障害者等多様なニーズに対応）